

知的財産 支援活動だより

特集

令和6年度 知的財産支援センター長挨拶
知財財産支援センター センター長 富澤孝



トピックス

4月までの支援活動（東海会・関西会・九州会）

目次

特集 令和6年度 知的財産支援センター長挨拶

知的財産支援センター センター長 富澤孝 4

1. 4月までの支援活動

東海会

「セミナー及び座談会」沼津信用金庫

知財金融対応委員会 委員長 椿和秀 7

「セミナー及び座談会」しずおか焼津信用金庫

知財金融対応委員会 委員長 椿和秀 10

「知的財産授業」名古屋市立桜田中学校

教育機関支援機構 機構長 伊藤正典 13

休日パテントセミナー2023in 長野

長野県地区会 副地区会長 國井久美子 14

知的財産権戦略セミナー2023「事業成長と知的財産」

静岡県地区会 地区会長 絹川将史 15

「知財授業」学校法人トライデントデザイン専門学校

教育機関支援機構 運営委員 岡浩喜 18

関西会

日本弁理士会関西会× INPIT-KANSAI オンラインセミナー

「企業における秘匿化戦略と先使用权」

INPIT 対応委員会 委員 山根広昭 19

令和5年度中小企業向け知財支援セミナー

知財普及・支援委員会 委員 池田義典 20

「知的財産特別授業」大阪府立佐野工科高等学校

関西会知財授業担当 野呂亮仁 22

「知的財産特別授業」京都府立宮津天橋高等学校 加悦谷学舎

関西会知財授業担当 寺藺佳江 23

令和5年度 第4回 知的財産権に関するセミナー in MOBIO-Café

知財普及・支援委員会 委員 謝博超 24

| | | | |
|--|------------|------|----|
| 「知的財産特別授業」 大阪市立城北小学校 | 関西会知財授業担当 | 村瀬成康 | 26 |
| 「知的財産特別授業」 泉南市立新家小学校 | 関西会知財授業担当 | 古田昌稔 | 27 |
| 「知的財産特別授業」 京都市立向島藤の木小学校 | 関西会知財授業担当 | 大濱徹 | 28 |
| 日本弁理士会関西会× INPIT-KANSAI オンラインセミナー 「海外進出に必要な知的財産活動のノウハウ」 | 国際情報委員会 委員 | 鈴木一晃 | 29 |

九州会

| | | | |
|-------------------|----|------|----|
| 「知財授業」 大分県立国東高等学校 | 会員 | 松本秀治 | 30 |
|-------------------|----|------|----|

2. 支援活動一覧表（6月から）

| | |
|------|----|
| ・相談 | 31 |
| ・講演 | 35 |
| ・その他 | 38 |

2. 支援活動一覧表（5月分）

| | |
|------|----|
| ・相談 | 40 |
| ・講演 | 42 |
| ・その他 | 42 |

本日よりWebでも閲覧できます。日本弁理士会ホームページ（<https://www.jpaa.or.jp/>）



令和6年度 知的財産支援センター長挨拶



知的財産支援センター センター長 富澤 孝

1. はじめに

2年任期の2年目の知的財産支援センター長を務めております富澤孝です。

令和6年度の知財支援センターのトピックスが2つあります。

1つ目は、国立高専機構との知財支援協定をより拡大する施策です。国立高専機構は、ロボコンを始めとして、毎年7つのコンテストを実施しています。それらの優れた作品には、隠れた発明がたくさん潜んでいます。国立高専機構から推薦された優秀作品20弱程度の中から、弁理士が先行技術調査を行うと共に、優れた発明の掘り起こしを行います。そして、7件程度を選んで、新規性喪失の例外を主張する特許出願を行い、審査請求、拒絶対応等を行い、特許権として成立させるまでを、選抜された高専の所属する地域会の弁理士に依頼します。

2件先行して進める予定であり、早期審査をかけて今年度内には、少なくとも1件、特許権を成立させたいと願っています。

2つ目は、能登震災において激甚震災地域として指定された石川県、福井県、富山県、新潟県に所在する中小企業の特許出願、実用新案登録出願、意匠出願、及び商標出願を援助する復興援助を行います。予算案では、熊本震災と同程度の1200万円の支援を行う予定です。支援センターは、援助要請の内から、日本弁理士会が援助するにふさわしい出願を選別する役割を果たします。

上記2つの新規事業と共に、従来の支援センターの本来的な活動も継続します。

知的財産支援センターは、日本弁理士会の社会貢献の一環として、知的創造活動並びに国内外の知的財産権の取得及び活用に関する支援を行うことにより、我が国における知的財産権制度の発展に貢献することを目的として設置された附属機関です。本センターは、日本弁理士会における社会貢献ボランティア活動の中核を担う付属機関であり、ボランティア精神に富んだ弁理士の集団であることに誇りを持って活動しています。

日本弁理士会は、士業の中にあって各県に独立法人を持たない全国一法人という特殊な団体であり、地域での活動が制約されることがあります。また、弁理士の都市部への偏在も問題となっています。本センターは、弁理士の少ない地域における知財支援を充実させるという社会貢献を

目的としています。本センターの支援方法は、地域会ができることは地域会が行うということを前提としております。そのため、本センターでは、特に関東・関西・東海以外の、運営を担う会員数を充分確保することが難しい或いは広域である等といった事情を抱える北海道会、東北会、北陸会、中国会、四国会、及び九州会の6地域会が行う知財支援活動、特に教育支援などを軸とする社会貢献事業等を積極的に応援していきます。

また、「パテントコンテスト」及び「デザインパテントコンテスト」を通じて、各地域の生徒や学生等の方々を含む学校関係者の皆様の知的財産マインドを育てるとともに、知的財産権制度の理解の促進を支援していきます。

2. 活動の主な柱

本年度は、支援センターの本業を確実に実行するために、次の項目を柱として、事業展開したいと考えています。

- (1) 教育支援体制
- (2) 支援情報及び成果の一元化
- (3) 出願支援援助事業・復興支援事業
- (4) 「パテントコンテスト」及び「デザインパテントコンテスト」事業における支援

3. 事業概要（各論）

(1) 教育支援体制

- ① 日本弁理士会として、小中高生に対する出張授業を開始して15年以上になりますが、今後とも、関東、東海、関西以外の地域会において小中高の知財授業の「講師のなり手」を育成することに力を入れていきます。

特に、関東、東海、関西以外の6地域会にある小中高生から出張授業依頼があった場合だけでなく、当該地域の青少年発明クラブ（発明推進協会運営）に対して、該当地域在住の全会員を対象に広く講師を募集することにより、多くの会員の協力を得て出張授業を行っていきたいと考えています。

また、授業用コンテンツ等の追加・改良等を行う事により、このコンテンツを積極的に活用した弁理士による知的財産教育体制を確立し、当該地域在住の会員が講師として永続的に知財授業を行う事が出来るように「講師のなり手育成」を積極的に行います。

上記「講師のなり手育成」を、弁理士法に規定されている「知的財産の専門家である弁理士」が「弁理士による知的財産権の利用の促進」を行う積極的対外支援（社会貢献）活動として対外的に広く広報していきたいと思います。

- ② 本年度も、国立高等専門学校機構との知財支援協定に基づき、51高専に対して、その要望に基づく具体的支援を、地域会と共に実行していきます。

また、高専からの様々なニーズに対応するため、概要編・演習編・権利行使編・調査編・オリジナル編（高専側の希望のテーマに沿って講師がテキストを作成する授業）を行い、都度内容をブラッシュアップしていきます。特に、高専を卒業した若手技術者として特許情報の活用を行うための下地作りができれば良いと考えています。また、国立高等専門学校機構との事業に関する連絡会議も引き続き行います。

- ③ 大学等支援としては、本年度も知的財産関連の各種講義（通期講座・単発セミナーを

含む)を提供していきます。

昨年度検討した講義希望の大学等を選定する場合の選定基準に基づいて大学等の支援活動を行うと共に、魅力のある大学支援のスキームを引き続き検討していきたいと考えています。

また、一昨年度、昨年度に続き大学・高専の学生発スタートアップを知財の観点から支援する新規事業に取り組んでいきます。

この大学支援を通して、知財人材の育成に寄与していければと考えています。

④ 医療系学会等支援グループによる、日本医工ものづくりコモンズ等医療系学会等への協力を行っていきます。

昨年に引き続き、医療学会等に対して、要請に応じて弁理士を派遣し、知的財産に関するセミナーや相談会を開催していきます。

(2) 支援情報及び成果の一元化

6地域会をフォローアップするためのシンクタンク機能の充実化や、支援情報及び成果の一元化に対応したいと考えています。この趣旨に基づき、本年度も、各地域会からの情報の共有化を図ります。

(3) 出願支援事業・復興支援事業の推進

本年度も昨年度に引き続き出願支援事業を推進していきます。出願に費用を充てるのが困難な企業等に対して出願支援を行うと共に、能登震災で被害を受けた地域の中小企業に対する出願費用の支援活動も行います。日本弁理士会の社会貢献の大切な活動であり、積極的に取り組んで参ります。

(4) パテントコンテスト・デザインパテントコンテスト事業における支援

「パテントコンテスト」及び「デザインパテントコンテスト」につき、文部科学省・特許庁・INPITと協力し、適切に対応及び実施します。このコンテストを通じて、高校生、高等専門学校生及び大学生等の知的財産マインドを育てるとともに、知的財産権制度の理解を促進することを支援します。

1

4月までの支援活動

東海会

「セミナー及び座談会」沼津信用金庫

1. 日 時：令和6年2月21日（水）15:00～17:00
2. 会 場：沼津信用金庫研修室
3. 出席者：関東経済産業局3名、沼津信用金庫職員4名、INPIT静岡2名、事業者20名
日本弁理士会東海会15名
副会長 橋本努
（静岡県地区会）地区副会長 田口滋子 東山裕樹
運営委員 吉延彰広 倉澤直人 阿出川豊 会員 長谷部善太郎 永田由美
（知財金融対応委員会）委員長 椿和秀 副委員長 加藤大輝
委員 加藤光宏 和気光 佐藤大輔

4. 内 容：

○各機関挨拶

沼津信用金庫様 沼津信用金庫 執行役員 営業統括部長 武田様
経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課 知的財産室 室長 遠山
嘉奈 様

INPIT 静岡県知財総合支援窓口 中村様

東海会 副会長 橋本努

○弁理士会ミニセミナー「事例で学ぶ知財活用のポイント」

東海会 知財金融対応委員会 委員 佐藤大輔

○座談会

(1) 昨年の職員向けのイベントに続いて、沼津信用金庫の顧客向けイベントを開催しました。関東経産局及びINPITには共催としてご協力をいただきました。局、INPIT、弁理士会の三者連携になります。

(2) 最初は集客がうまくいきませんでした。最終的に20名の事業者に集まっていたけました。

(3) ミニセミナーでは、佐藤会員から、おやつカンパニー、スターバックスといった大企業の事例と、中小企業2社の事例を説明いただきました。知財にあまりなじみにない事業者にもわかり易く話をさせていただきました。

(4) 座談会では、A～Dの4グループで座談会を行いました。1グループは、事業者約5名、弁理士3名、及び、沼津信用金庫の職員約2名で構成されました。INPIT静岡窓口の担当の方2名はそれぞれA、Bグループに入りました。各グループの様子は、以下のとおりです。

(4-1) Aグループ（田口滋子 静岡地区副会長報告）

・一般参加者の自己紹介及び業務紹介のあと、一般参加者全員から質問や相談を聞きつつ、メンバーで討論及びアドバイスをを行いました。

・具体的には、特許権と意匠権の棲み分け、取得済商標権の権利範囲と使用可能範囲の違い、ソフトウェア特許、ネット素材を組み合わせたデザインや歌詞の一部の著作権、取得済意匠権の活用等について、話し合われました。

・「知財なんでも相談会」であったため、参加者は相談内容を事前に準備していました。弁理士や参加者同士の討論を通じて、各自解決のヒントを得ることができたのではないかと思います。
(4-2) Bグループ (吉延彰広 静岡地区会委員報告)

・出願した経験がある方が1名だけであったため、まず最初に、特許出願、意匠出願、商標出願を行うことの意義について、弁理士それぞれから説明を行っていただきました。他社との差別化を守るため、参入障壁にするため、他社から文句を言われたい防御のため、自分の考え方を財産として残すため、商標は自己の使用を確保するため等の様々なご見解が説明されました。また、実際の出願には大発明はそうそうなく小発明で十分、最初は稚拙でも毎年レベルアップして出願を繰り返していくことが重要、ライセンス料で設けるのは大変。といったアドバイスもなされました。

・次いで、質問に答える形でフリーディスカッションを行いました。「色々なことは思いつくけど商品化まではできない」といった悩みや、「ソフトウェア発明を権利化することは難しい印象があるが実際にはどうか?」、「Webデザインの意匠について」、「埋もれている特許を探すにはどうしたら良いか?」等の質問を受けました。それぞれの弁理士が回答をしていく中で、追加の質問も積極的になされ、質問者のご自身で理解しながら納得する回答を得られたように思います。

・今年度が初開催でしたので、次年度以降も開催されることを願います。

(4-3) Cグループ (阿出川豊 静岡地区会委員報告)

・弁理士も含め参加者の自己紹介及び業務紹介のあと、一般参加者から質問や相談を聞きつつ、メンバーで討論及びアドバイスを行いました。具体的には、以下が話題となりました。参加者はこれらの討論を通じて、今後の方向性の選択肢を得ることができたのではないかと考えられます。なお、業界・地域特有事情があるため、今回の規模感(静岡県東部:沼津近隣)での開催は非常に有効であることも明らかとなりました。

・市の支援撤退後の元「戦略作物」栽培農家の存続を目的としたブランド戦略(個人申込:一社とのこと)に対して、一社での地域団体商標登録のための諸条件や、デザイン化での商標権取得、ストーリー性を加味した新規造語での商標権取得など

・下請けから脱却を課題とする精密板金加工業者さんに対して、信金を介してのデザイン会社との提携や、ノウハウ秘匿のための営業秘密管理方法、さらには、業界の標準的技術力把握のための特許公報勉強会提案など

・意匠登録を有する溶接業者さんには、意匠登録に至った背景をもとに、今後の拡販アイデアなど

・シングルマザーの生活水準向上を目指す方(個人申込)に対して、ビジネスモデル特許を取得するためにはハードウェア資源の利用が必須であることなどのアドバイス、ブランド化のための商標登録など

・先端農業を支援するにあたり、研究者と一般事業者をどう繋ぐかなど

(4-4) Dグループ (永田由美 静岡地区会委員報告)

・革細工の小物を製作している事業者からは、自社製品のデザインを守っていく上での支援を希望されていました。既に市場に出てから数年経過した商品もあるので、今後新しいデザイン

を出した際の意匠登録出願や立体商標としての出願の検討など、複数の手続を示しつつ今後の可能性を検討しました。

- ・技術コンサルティングの傍ら海外からの旅行者を主な対象として伊豆を含む地元の観光事業も展開している事業者は、社名の商標について海外でも権利取得の意向がありました。
- ・海外で商標登録する出願においては、マドプロのほか直接の出願も可能ですが、現地の代理人との連携など、特有の留意点があることなどをアドバイスしました。
- ・土壌調査の研究に従事し特許権も有している事業者からは、地震や水害の災害防止に資する技術を活かすため、企業等との連携を探っておられました。
- ・沼津信用金庫の担当者様も同席されていたので、是非積極的に情報提供をしていただければ今後につながるのではないかと声があがりました。
- ・木工品の加工・製作を行っている事業者は、地元の学校で廃棄された机や椅子をリメイクした製品作りに力を入れたいという意向がありました。
- ・自社の事業としてPRする上で、商品やサービスの名称についての商標登録など、ブランディングを意識した戦略を立てることが大事ではないかという話し合いがなされました。
- ・このグループでは、当日に当座談会の開催を知って「飛び込み」で参加された事業者もおられて、どなたも知財活用について高い関心を持たれている様子が伝わってきました。
- ・限られた時間だと十分なアドバイスにより支援することが難しいので、今回の座談会をきっかけに継続的な支援ができると非常に望ましいと思われました。



橋本副会長 挨拶



佐藤委員による講演



座談会の様子



座談会1グループの様子

東海会 知財金融対応委員会 委員

「セミナー及び座談会」しずおか焼津信用金庫

1. 日 時：令和6年2月26日（月）14：30～16：30
2. 会 場：藤枝市産学官連携推進センター
3. 出席者：経済産業省 関東経産局 地域経済部 産業技術革新課
知的財産室 室長 遠山嘉奈様 知的財産室 上裕也様
INPIT 静岡県知財総合支援窓口 担当 三倉様 宮枝様
日本弁理士会東海会
(知財金融対応委員会) 委員長 椿和秀 委員 佐藤大輔 伊藤浩二
(静岡県地区会) 地区副会長 東山裕樹 田口滋子
運営委員 吉延彰広 長谷川和家 坂野史子 出雲暖子
事業者 11社

4. 内 容：

- 各機関挨拶
- 藤枝市ミニセミナー「藤枝市の補助制度」
- 弁理士会ミニセミナー「事例で学ぶ知財活用のポイント」
東海会 知財金融対応委員会 委員 佐藤大輔
- 座談会

(1) 藤枝市から補助金制度の説明がなされました。出願、審査請求料等の1/2(最大20万円)を補助する産業財産権取得費補助金があります。

(2) ミニセミナーでは、佐藤会員から、おやつカンパニー、スターバックスといった大企業の事例と、中小企業2社の事例と、を説明いただきました。知財にあまりなじみにない事業者にもわかり易く話をさせていただきました。

(3) 座談会では、A～Cの3グループで座談会を行いました。1グループは、事業者約3名、弁理士3名、及び、しずおか焼津信用金庫信用金庫の職員約2名で構成されました。INPIT静岡窓口の担当の方2名はそれぞれA、Bグループに入りました。各グループの様子は、以下のとおりです。

(3-1) Aグループ (田口滋子 静岡地区副会長報告)

- ・ 一般参加者の自己紹介及び業務紹介のあと、一般参加者全員から質問や相談を聞きつつ、メンバーで討論及びアドバイスを行いました。
- ・ 特に要望があった「知財のはじめの一步」に関し、基本情報の公開状況を説明し、現場に即した特許、実案、意匠、商標の大まかな解説を行い、迷ったら相談窓口や専門家等へ相談することの必要性を説明しました。
- ・ 技術的なアイデアの出願判断と出願前調査／費用対効果、特許と実案の違い、設計図面と特許図面の違い、パッケージデザインの保護方法、外国での権利保護、真似されたときの除斥期間、特許権存続期間満了後の第三者の実施、そして藤枝市の手厚い補助金制度について話し合われました。
- ・ 弁理士、信金職員、参加者同士の討論を通じて、参加者それぞれの「知財のはじめの一步」ができたのではないかと思います。

(3-2) Bグループ (吉延彰広 静岡地区委員報告)

・自己紹介を行ってから、フリーディスカッションを行いました。弁理士側からの一般的な説明として、登録が必要ない知的財産権の紹介（著作権、不正競争防止法の商品等表示・デットコピー・営業秘密）、J-PlatPat の紹介と検索結果の見方のアドバイス、特許公報の技術文献としての価値、権利侵害調査及び判断は専門家に任せることが安全とのアドバイス。特許印紙代を含めた権利取得費用の説明等を行いました。

・また、事業者の方は、1名が長く続く企業の方であり、もう1名は開業したばかりの個人事業主の方でした。二事業者様とも出願の経験はありませんでした。二事業者様には、ご自身のビジネスがどのような形態であるかを伺いました。それぞれのビジネス形態は特有であり、その形態に合った知財財産の活用方法をご提案できたと思います。

・具体的には、販売する製品にコンピュータプログラムが組み込まれているのであればコンピュータプログラムは著作権で守ることも可能であり、納品の際にプログラムを保護する契約を結んでおくことが好ましい。ビジネスを始める前やアイデアを客先に話す前に秘密保持契約を締結しておくことが好ましい。商標を取得してブランド価値を高める。また、商標を取得しておくことと安心であること等をご提案しました。

・最後に信金様からの質問に答えるかたちで、無料の支援を、弁理士会東海会全体でも、知財金融対応委員会でも、INPIT でも行っていることをPR できました。

・事業者の方どうしがディスカッションする場もあり、自社の相談に留まらず、他社の相談にも興味を持っていただけて、座談会としての意義があったと思います。

(3-3) Cグループ (東山裕樹 静岡地区副会長報告)

・弁理士も含め参加者の自己紹介及び業務紹介のあと、一般参加者から質問や相談を聞きつつ、メンバーで討論及びアドバイスをを行いました。なお、今回はいろいろ業界の方が参加されているものの、産業財産権を取得した経験を有していないということから、各参加者ごとに関連する法域について基本的なところから説明を行いました。

(相談1) 元請けからの設計内容に応じて金属部品を製造しているが、単価設定の関係で思い通りの収益を確保しにくいので自社オリジナル製品を検討している。しかし具体的にどうして良いか分からず、踏み出せていない。

⇒自社の強みを客観的に評価してみる。ネーミングなどのオリジナル製品に向けた準備を進める。ニッチな商品でもネットで流通させることができるので、得意な分野のアイデア商品などを検討してみる。

(相談2) 外国人の技能実習生に受入れに伴う登録事務作業と、人材の紹介などの業務を行っているが、知的財産権の重要性は認識しているものの自分の業務にどのように関係するかが分からない。

⇒技能実習生は、企業の生産現場に入って研修するため、製造現場のノウハウに触れることもあることから、営業秘密の管理という視点を持つことが重要。受け入れ先に対して、技能実習生を介した情報漏洩について対応していることをアピールすることで他社との差別ができるかもしれない点を指摘。

(相談3) 新たな顧客を取り込むために、目新しい商品(お茶)を企画しているが、それらをどのように保護すべきかが分からない。

⇒差別化するためのブランディング戦略を検討する。ネーミング、商品のパッケージなどを多面的に保護する。一方でコストの関係もあるので、優先事項についても検討する。力を入れているパッケージについては、意匠、商標での保護が可能。

(相談4) 新たな食品を開発してお店の特色を持たせたいと思っているが、どのように知財を活用すべきかを知りたい。

⇒商標を検討すべき。ネーミングについては、カッコいいものでないほうが消費者の記憶に残るのでいい場合がある。食品については、製法特許というものが考えられるが、公開されてしまうデメリットもあるので、ノウハウとして管理しておくといった手法もある。

<感想>それぞれの参加者は、上記のような専門家のコメントを参考することで今後の具体的な方策をイメージできたのではないかと思います。

人材の退社によるノウハウなどの営業秘密の漏洩に対しての危機感はお持ちですが、その防止をするための対策まで手が回らない様子でした。



椿委員長挨拶



佐藤委員によるミニセミナー



座談会の風景



座談会1グループの様子

東海会 知財金融対応委員会 委員長 椿和秀

「知的財産授業」名古屋市立桜田中学校

1. 日 時：令和6年2月29日（木）9：45～12：20（第2～4限）
2. 会 場：名古屋市立桜田中学校
3. 対 象：中学第3学年3クラス（1クラス40名）120名
4. 講 師：東海会 教育機関支援機構 機構長 伊藤正典
5. 内 容：

卒業を控えた生徒へのキャリア教育（子ども・若者がキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的働きかけ（文科省HPより）の一環として今回の授業を行いました。具体的には、知的財産権制度が社会全体の発展に貢献していること、弁理士がその一端を担っていることを、特許（発明）、商標権（商標）、著作権（著作物）の3つの観点に分けて説明し、各知的財産権の存在意義を理解してもらえるように配慮しました。実際の製品や特許公報を提示したり、著作権に関してクイズ形式で問い掛けることにより、自分事として考え、理解してもらうことができたと思います。また、知財創造サイクルは、弁理士以外にも発明者をはじめ、設計者や基礎研究者、商品販売のための営業等、様々な人との関わりがあることを伝えることで、今後の多様なキャリアを考えるためのきっかけを提供できたと思います。

なお、生徒の中に1名「弁理士になりたい！」という生徒がおり、授業後に個別の質問に対応しました。特定の受講者に弁理士になりたいと思ってもらうことが当機構の支援活動の直接の目的ではありませんが、支援活動を続けてきた側としては非常に嬉しいことであり、今回の授業が夢を叶えるための一助となることを願っています。

東海会 教育機関支援機構 機構長 伊藤正典

休日パテントセミナー2023in長野

1. 日 時：令和6年3月17日（日）10：00～12：00

2. 会 場：長野市 生涯学習センター 3階 第2学習室

3. 講 師：スタートアップ・起業家創出の活動と知財の活用

■第一部「長野市のスタートアップ支援制度について」（10：05～10：40）

講師：長野市 新産業創造推進局 産業基盤創生・人材育成チーム 課長 轟貴彦氏

■第二部「知的財産の流通による活用について」（10：40～11：15）

講師：株式会社 IP Stream 代表 小川一氏

■第三部「ブランドマーケティングにおける知的財産の活用について」（11：15～11：50）

講師：東海会 長野県地区会 地区副会長 國井久美子

4. 対 象：一般市民、起業を目指す方、企業関係者、知財関係者など18名

5. 内 容：

第一部では、長野市 新産業創造推進局 産業基盤創生・人材育成チーム 課長 轟貴彦氏より、長野市におけるスタートアップ・エコシステム形成に向けた取り組みとして、長野市が目指す方向性や、具体的な取組の

紹介、長野市として独自に展開している各種スタートアップ支援制度のご紹介をおこなっていただきました。

第二部では、株式会社 IP Stream 代表 小川一氏より、知的財産の流通による活用について、知財活用を行う上での課題、知財活用の類型やライセンスビジネスの理想と現実をお話いただいた上で、マネタイズ化を図るためのポイントや事例について、特許ライセンス、特許売却、資金調達の側面からご紹介をおこなっていただきました。また、ディープテック・スタートアップの Spiber 社を例に事業価値証券化に関する動向や、政府で検討中の事業成長担保権に関する検討の動きについてもご紹介いただきました。

第三部では、地区副会長の國井が、ブランドマーケティングにおける知的財産の活用について講演を行いました。ブランドマーケティングの手法について紹介した後、知的財産制度の特質について端的に分かりやすく紹介し、知財ミックスの重要性や、地元の企業が保有する商標権により、外国からの参入企業の権利化が排除された例をご紹介し、権利化の重要性について認識をしていただきました。



セミナーの様子

東海会 長野県地区会 副地区会長 國井久美子

知的財産権戦略セミナー2023「事業成長と知的財産」

1. 日 時：令和6年3月21日（水）14:00～15:30
2. 会 場：静岡県医療健康産業研究開発センター 中央棟3階 交流ホール
3. 実施者：主催 公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構 ファルマバレーセンター
共催 関東経済産業局、日本弁理士会東海会、弁護士知財ネット、
INPIT 静岡県知財総合支援窓口
4. 出席者：静岡県内行政機関、金融機関、企業経営者、企業担当者（知的財産担当者等）、
個人事業主等21名、関東経産局3名

5. 内 容：

・挨拶

公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構 常務理事 小坂寿男氏
経済産業省 関東経済局 地域経済部 産業技術革新課 知的財産室 室長 遠山嘉奈氏

・セミナー

第一部 基調講演：「よくある話の裏に隠れた知財の論点」

講師：独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）

地域支援部広域関東圏地域統括 浅野泰光氏

第二部 意見交換会：「仮想のケースを用いた意見交換会」

担当：INPIT 担当者（本部・静岡県窓口）6名

協力：日本弁理士会東海会弁理士 弁護士知財ネット弁護士

日本弁理士会東海会静岡県地区会からの参加者 6名

地区会長 絹川将史 地区副会長 田口滋子

運営委員 長谷川和家 坂野史子 出雲暖子 関谷綾子

（坂野、関谷運営委員は弁護士知財ネットからの参加）

・セミナー終了後

関東局経産局知財室の取組について 遠山室長より説明

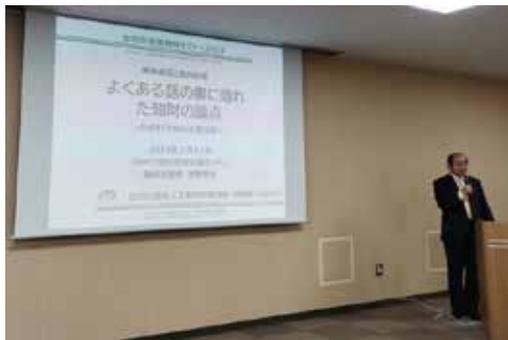
- (1) 今回のセミナーでは、一般社団法人静岡県発明協会・三倉事務局長より、日本弁理士会東海会静岡県地区会に弁理士の派遣依頼を頂きました。弁護士知財ネットから応募された2名を含めて、静岡県地区会から6名の弁理士（うち2名は弁護士・弁理士）が参加しました。
- (2) セミナーの第一部として、基調講演：「よくある話の裏に隠れた知財の論点」と題して、独立行政法人工業所有権情報研修館（INPIT）地域支援部広域関東圏地域統括・浅野泰光氏から講演がありました。講演者は通信会社に勤務していたこともあり、特許や商標といった知的財産権に加えて、ブランド、営業秘密、ノウハウ、データや情報そのものである無形資産にも知的財産として価値があることを自らの経験から述べていました。この後の意見交換会の前に、参加者に知財の概要を含めて説明を頂きました。
- (3) セミナーの第二部として、意見交換会：「仮想のケースを用いた意見交換会」が行われました。担当：INPIT 担当者（本部・静岡県窓口）、協力：日本弁理士会東海会弁理士によって進行しました。A～Dの4グループに分かれ、各グループ8名で、INPITの担当者が1名か2名、弁理士が1名か2名配置されました。最初の10分で参加者から、

製茶企業を題材とした仮想事例について、(1) 相談者に聞くこと、(2) それに対して提供できる支援・助言を考えて、付箋に記載して頂きました。グループ内発表では、簡単な自己紹介を含めて1人5分程度で考えたことを発表しました。I N P I Tの担当者が進行役となり、各参加者の意見の記載された付箋をホワイトボードに貼り付けながら、弁理士(弁護士・弁理士)の専門家が参加者からの質問に回答し、付随する留意事項に関して説明を行いました。

- (4) Aグループの田口地区副会長、Bグループの坂野運営委員から、グループ内の参加者から出た意見や弁理士やI N P I T担当者から出たコメント内容について発表がありました。発表した内容も含めて、意見交換会で出た意見は下記になります。
- (4-1) 商品開発の観点から、商標制度の利用について意見が出ました。今回のケースで「和茶」という商標は、すでに商標登録がされている商標であり、使用できない可能性が高いとの意見が出ました。専門家からは、商標を決める際には、まず調査を行って、他者の権利の侵害にも注意すべきとの意見が出ました。また、商標は長く使うほど信用が蓄積されるものであり、価値も高まるという認識を持って頂きたいという意見も出ました。商標制度では、特許制度の新規性とは違って、すでに使用して公知になっている商標でも登録になりますが、先願主義であるので、早く出願する必要があるとの意見も出ました。
- (4-2) 特徴的な形状に関しては、意匠制度の利用について意見が出ました。議論の中で、権利化することの是非についての質問が出ました。例えば特許権を取得して技術内容を公開するか、ノウハウとして秘匿するかについて、一般的に視覚的に分かる物品は権利化することが望ましく、秘密裏に行われると中々摘発し辛い方法に関してはノウハウにするのも一つの考えであるとの意見が出ました。ただ、方法についても特許化することで、ビジネス上の宣伝として使う考えもあるとの意見も出ました。苦みとか味の評価に関しては、官能試験で客観的に評価することで特許制度の利用もできるとの意見も出ました。
- (4-3) 協業や業務委託を行う場合に、ノウハウのような技術内容を開示するのであれば、秘密保持契約を結んで頂きたいとの意見が出ました。最近の人手不足により、企業イメージを向上できる業界との協業も検討できるといった意見も出ました。転職前に得た情報を次の職場で使用するについて、職務発明・職務著作への考慮も必要との意見が出ました。退職した職員による秘密漏洩の問題もあり、従業員と秘密保持契約を結ぶ必要性は高いとの意見が出ました。こういった知財に関して不明な点があれば、I N P I T 静岡県知財総合支援窓口等で行っている無料専門家相談の利用もできるとの意見も出ました。
- (4-4) 生産の観点から、ノウハウ(営業秘密)の管理、衛生管理のH A C C P関連補助金の申請といった意見が出ました。原料の生産から一貫して製造や販売を行う形の取組みについての意見も出ました。
- (4-5) 販売の観点から、マーケティング、ニーズの調査方法の指導、専門家の手配、また事業補助金の提案の意見が出ました。
- (4-6) その他、外国で事業を行うにあたり、外国出願(予算、ルート、出願国の検討)の

意見が出ました。外国まで手を広げるには10名の従業員では難しいという現実的な意見も出ました。JETROやINPI Tの方で外国での対応について相談ができるとの意見が出ました。自治体における支援（例えば、三島市のM-ステでの相談対応）、マッチングサイトの利用、中小企業119、各種補助金の利用についての意見が出ました。金融機関の参加者からは事業承継の問題についての意見も出ました。また、廃棄物のリサイクルの意見も出ました。

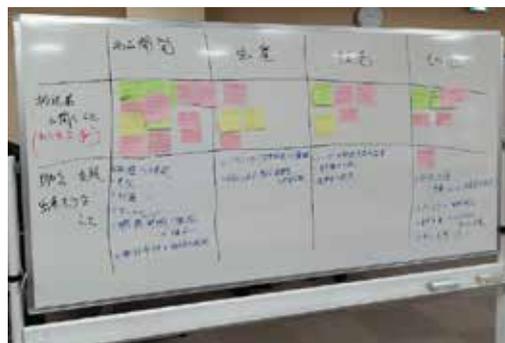
- (5) 最後に絹川より総括を行いました。知財は、事業拡大のための攻めの部分と、他者の権利侵害にならないようにする守りの部分を考える必要があることを述べました。また、今回の仮想事例を通して、参加者の様々な目の前にある問題に対して、正解はなく、時代背景や技術もどんどん変化するので、様々な視点から、最善策をよく考えて進めていくことが大切であることを述べました。
- (6) 本セミナーでは行政、企業、金融機関といった色々な属性の参加者がおり、それぞれの視点で様々なアイデアを提供して頂き、それに専門家がコメントする方式で進行しました。参加者にとって知財の理解を深めるうえで有意義な機会になったと考えます。今後もこのような機会を通じて、知財の啓蒙活動ができれば有り難いと考えております。



浅野氏の講演の様子



意見交換会での様子



ホワイトボードに参加者から出た意見を集約

東海会 静岡県地区会 地区会長 絹川将史

「知財授業」学校法人トライデントデザイン専門学校

1. 日 時：令和6年4月8日（月）9：45～11：15
2. 会 場：学校法人 トライデントデザイン専門学校
3. 対 象：新入生70名
4. 講 師：東海会 教育機関支援機構 運営委員 岡浩喜
5. 内 容：

総合デザイン学科の1年次の学生向けにデザイン制作について講義を行いました。

これからプロのデザイナーになるために勉強をしていく学生が最低限知っておくべきデザインと関連する知的財産権の基礎について説明しました。

導入として、デザインに関連する知的財産権の概要（工業デザインと意匠権・不正競争防止法、ロゴデザインと商標権・不正競争防止法、グラフィック等のデザインと著作権など）を説明するとともに、実際に絵をかいてもらうことで「著作権者になる」ことを通じて権利を身近に感じてもらいました。著作権については、創作的な表現をした者が著作者であって、実際に手を動かして絵を書いた人が著作者になるとは限らないことも説明しました。

続いて、グラフィックに関する著作権の実際の裁判例を基に「類似性」について学生と一緒に考えることで、類似性の考え方、アイデアが共通することと表現を盗用することの違いなどを説明しました。裁判所であっても一審と二審で判断が分かれたり、裁判所の判断に対して専門家の間でも批判的な意見もあるなど、簡単に判断できるものではないことを説明しました。

さらに、プロのデザイナーになる者として、契約の重要性や著作権契約における留意点などを説明しました。

また、今年から画像生成 AI を用いたデザイン制作に関するリスクや留意点の解説も行いました。

まとめとして、創作活動で委縮する必要はないものの、デザイナーにとって著作権の侵害になるかどうかや不当な契約になっていないことの判断は容易ではないことを改めて説明し、専門家に相談することも必要であることを説明しました。

東海会 教育機関支援機構 運営委員 岡浩喜

関西会

日本弁理士会関西会 × INPIT-KANSAI オンラインセミナー 「企業における秘匿化戦略と先使用权」

1. 日 時：令和6年1月30日（火）14：00～15：40
2. 場 所：Zoom によるオンラインセミナー
3. 主 催：INPIT-KANSAI、日本弁理士会関西会
4. テーマ：「企業における秘匿化戦略と先使用权」
5. 講 師：INPIT-KANSAI 知財戦略エキスパート 深町裕一 氏
関西会 INPIT 対応委員会 委員 山根広昭
関西会 国際情報委員会 委員 駒谷剛志
6. 受講者：164名
7. 内 容：

前半が INPIT-KANSAI の深町氏による企業における秘匿化戦略についての概要説明であり、後半は、秘匿化において必要となる先使用权の証拠力を高める方法として、デジタル時代に合ったタイムスタンプサービス、電子公証の活用方法を INPIT 対応委員会の山根会員が説明し、海外の先使用权の状況を国際情報委員会の駒谷会員が説明しました。

関西会 INPIT 対応委員会 委員 山根広昭

令和5年度中小企業向け知財支援セミナー

1. 日 時：令和6年1月31日（水）13：30～16：45
2. 会 場：Zoomによるオンラインセミナー
3. テーマ：社会の変化に先手を打つ！知財活用の新しい視点と方法
～埋もれた技術をコア技術化するための考え方を知ろう～
4. 講 師：第1講座 株式会社オシンテック 代表取締役 小田真人 氏
第2講座 弁理士 松下正 会員
第3講座 上記講師によるパネルディスカッション及び質疑応答
パネリスト：株式会社オシンテック 代表取締役 小田真人 氏
弁理士 松下正 会員
ファシリテータ：弁理士・弁護士 三品明生 会員
5. 受講者：138名
6. 内 容：

第1講座では、①環境や人権を軸としたグローバルイシューと②生成AI等の知能とによるゲームチェンジを見据えた攻めの「知財デザイン」についてご講義いただきました。①については、例えば「環境問題×国際政治と金融」の表題のもと、投資・融資の基準としてSDGsへの貢献などの「非財務」の評価が重要となり、金融や技術のゴールとしてサステナブルが意識されるようになることをお話いただきました。②については、AIには未曾有のことや高抽象度の推論はできないことを挙げられ、AIに代替されないためには自分で判断することが重視されるようになること等をお話いただきました。また、攻めの知財戦略に必要な目線として、ゲームチェンジが起これば価値の尺度が変わるので、新しい軸で知財を再点検・再評価することが重要であるとお話いただきました。

第2講座では、新しいビジネスを思い付いたときの特許戦略についてご講義いただきました。具体的な事例も交えてビジネスモデル特許について説明いただいたうえ、特許を取得するまでのハードルや特許を取得した場合の特許の位置づけ等についてお話しいただきました。また、特許出願を検討する際の重要事項として、「ビジネスモデルを磨く」ことを挙げられ、ビジネスモデルを磨くことでサービスの利便性自体も向上できることをお話いただきました。さらに、第1講座の内容にも言及され、ビジネスモデルを磨くうえでは、今後の世の中の課題等を見据えておくことも重要であるとお話いただきました。

第3講座では、カーボンニュートラルだけではなく、温室効果ガス全般についてルールが変化することは「読める未来」であると議論いただきました。また、ルール変化の潮流は国際会議を見ていけば分かるため、これに対してどのように先手を打つかが重要となり、先手を打つことで特許等の戦略も立てやすくなるし、新しい時代にあわせて手持ちの技術の説明力を高めることもできるようになると議論いただきました。

また、ビジネスモデル特許に関しては、2つの技術を使った新しいビジネスを発案しても、既存の2つの技術の権利侵害となることもあるため、事前に回避策について検討することも重要であることや、新規ビジネスを行う場合、どの程度まで侵害調査を行ってリスク回避を行うかも検討すべきであることを議論いただきました。

また、生成AIについては、AIを使いこなす側にいることが大事であること等について議論いただきました。

さらに、素晴らしい技術を持っている企業は未来を創っていく責任があるので、知財を活用して影響力を高めていって欲しいとお言葉をいただきました。

関西会 知財普及・支援委員会 委員 池田義典

「知的財産特別授業」大阪府立佐野工科高等学校

1. 日 時：令和6年2月6日（火）13：15～15：05
2. 場 所：大阪府立佐野工科高等学校
3. 名 称：「知的財産特別授業」
4. 内 容：発明工作授業（回転台）
5. 対 象：1年生 13名
6. 講 師：吉岡 亜紀子、野呂 亮仁
7. コメント：

今回訪問した大阪府立佐野工科高等学校は、南海本線泉佐野駅から徒歩で7～8分程のところにあります。

今回は、発明工作授業「回転台」を、1年生13名に対して実施させていただきました。また、3名の先生にも参加していただきました。

始めに、吉岡会員が生徒達に弁理士や知的財産について説明しました。特に、発明については、有体物である鉄そのものと、アイデアとしての鉄の構造とを例に挙げて、説明しました。その際、弁理士や発明のことについて質問したところ、弁理士のことを知っている生徒は残念ながらいませんでしたが、発明やエジソンについて知っている生徒がいました。

次に、工作に取りかかると、みんな興味を持って積極的に取り組み、色々とアイデアを思いき、素晴らしい作品を作ってくれました。回転させる機構については特定の形態に偏ることなく、4人グループで協力して80個のビー玉と2枚のPP皿を使用したものや、ビー玉を入れていた紙コップを使う物など、多様性に富んだ様々な回転台が出来上がりました。

工作終了後、今回は人数が少なかったのと時間に余裕があったため、各作品を作成した生徒および先生に紹介してもらいました。完成に至らなかった生徒にも、作ろうとしていた回転台のコンセプトや想いを紹介してもらいました。自分のアイデアだけでなく、他の生徒の様々なアイデアに触れることができ、良かったと思います。

最後に、少し時間が余ったので、野呂会員から、知的財産や弁理士の役割について実体験を交えて説明をし、弁理士について質疑応答を行いました。弁理士の働き方についての質問や弁理士になったきっかけについての質問がありました。

本授業を通じて、弁理士の役割や発明をはじめとした知的財産について理解が深まり、知的財産の重要性を知っていただければ幸いです。



発想力豊かな生徒達と工作を行う講師

関西会知財授業担当 野呂 亮仁

「知的財産特別授業」 京都府立宮津天橋高等学校 加悦谷学舎

1. 日 時：令和6年2月8日（火）13：15～14：05
2. 場 所：京都府立宮津天橋高等学校 加悦谷学舎
3. 名 称：「知的財産特別授業」
4. 内 容：高校知財授業（寸劇）
5. 対 象：3年生 3クラス 78名
6. 講 師：三方 英美、寺藺 佳江
7. コメント：

卒業を控えた高校3年生の登校日に開催された特別講演にて、「知的財産特別授業」を行ってまいりました。

最初に、学校側から授業を通じて学んで欲しいことや生徒に考えて欲しいことの説明があり、知的財産について学ぶことの意義を生徒に理解してもらうことができました。次いで、『おにぎりパック特許権物語』の50分版シナリオに従って、特許権の取得から特許権侵害を巡る攻防まで寸劇形式で説明を行いました。主講師の弁理士役は三方会員、補助講師は寺藺会員が担当しました。生徒にとって特許請求の範囲という用語は難しく感じられたようですが、おにぎりパックは身近にある題材であったため、侵害事件のパートが進むにつれて理解が深まっていったようです。また、侵害事件の事例に基づいて、侵害しているという特許権者の主張と侵害していないと反論する社長の主張のどちらが正しいと思うか、生徒に考えてもらうことによって、特許権を利用することの意義を伝えることができたと感じました。

授業の中では特許権に関する難しい用語もたくさん出てきましたが、熱心にメモを取る生徒も多く、この授業を通して特許をはじめとする知的財産権の意義を理解し、知的財産制度や弁理士という職業に少しでも興味をもってもらえたら嬉しいと思いました。



興味津々の生徒達に講義を行う講師

関西会知財授業担当 寺藺 佳江

令和5年度 第4回 知的財産権に関するセミナー in MOBIO-Café

1. 日 時：令和6年2月14日（水）15：30～18：30
2. 場 所：クリエイション・コア東大阪南館2階 産学連携オフィス セミナールーム
3. 主 催：日本弁理士会関西会、ものづくりビジネスセンター大阪（MOBIO）
4. テーマ：菊正宗の商品開発と知的財産活用の歩み
5. 講 師：菊正宗酒造株式会社総合研究所 所長 高橋俊成 氏
弁理士 川瀬直樹 会員
6. 受講者：33名
6. 内 容：

高橋氏からは以下の清酒業界の現状、菊正宗様の2つの研究開発事例、そして知財に対する考え方についてご説明いただきました。川瀬会員からは菊正宗様の技術の特許出願ポートフォリオのご説明がなされた他、技術をノウハウとして保護する場合の一般的な留意点等についてご説明いただきました。

◆清酒業界の現状

清酒業界は、経営と技術・技能が分離しており知財に対する意識が低く、日本の伝統的な産業ゆえに技術を独占せずと共有するという気風が色濃く残っている業界であるご説明されました。例えばアルコール発酵を担う酵母の育成技術については、技術開発した月桂冠株式会社が秘匿せずに特許を取得して実施許諾をすることで全国の酒造メーカーに活用されている状況ということです。

◆菊正宗様の2つの研究開発事例

1. 菊正宗様は、清酒造りにおいて雑菌汚染を防止する働きを持つオリジナルの乳酸菌に注目し、そこから季節の変化に敏感な方や乾燥が気になる方の健康を内側からサポートする働きを見出し、乳酸菌を活かした健康食品をつくりたいという考えから、大学や研究機関などと連携し、良質の米を原料とした健康食品を開発され、その取り組みについてご説明いただきました。

2. 菊正宗様は、果実のにおい成分を高生産する酵母変異株の育種も行い、低精米を用いても華やかな香りを有する低コストの清酒新製品を開発され、その取り組みについてもご説明いただきました。

◆知財に対する考え方

微生物を対象とする技術に関しては特許出願するのかノウハウにするのかの選別が工業製品とは異なって難しいとのことで、学会発表によって公知にしたり、他社の権利化を防ぐために防衛出願をおこなっているケースもあるとのことです。また、菊正宗様は技術シーズを清酒又はそれ以外の食品や化粧品分野へ応用することを視野にいれて研究開発をすすめているとのことです。



関西会 知財普及・支援委員会 委員 池田義典

「知的財産特別授業」大阪市立城北小学校

1. 日 時：令和6年2月16日（金）9：45～10：30
2. 場 所：大阪市立城北小学校
3. 名 称：「知的財産特別授業」
4. 内 容：小学知財授業（寸劇）
5. 対 象：6年生 2クラス 46名
6. 講 師：山本 雅之、村瀬 成康
7. コメント：

今回、JRおおさか東線の城北公園通駅から徒歩約5分の沿線にあります大阪市立城北小学校を訪問させていただきました。視聴覚室をお借りして、寸劇の知財授業を実施してきました。本授業においては、司会進行役を山本会員が務め、補助役を村瀬会員が務めました。

まず、小学校の廊下に、大阪・関西万博の開催を知らせる横断幕や小旗が置かれていたことに驚かされました。地域全体での大阪・関西万博の期待感を感じることができました。

授業の開始前は若干緊張しましたが、児童たちの明るい笑顔や活気ある態度に触れ、リラックスして授業を進めることができました。授業では、発明の概要や保護の大切さについて説明しました。日常生活の中での発明品の実例を挙げ、身近なものでも発明がなされ得ることを児童たちに理解してもらえたように思われます。また、児童たちに日常の不便や問題点を提示し、それらを解決するための工夫やアイデアを考えてもらいました。講師からの質問に対して予想以上の回答があり、児童たちの柔軟な思考力に感銘を受けました。

大阪・関西万博の紹介時にはマスコット「ミャクミャク」のイントネーションで、その場が盛り上がりました。正解が分かりませんでしたが、児童たちとの楽しいやりとりが印象的でした（「ミャク（→）ミャク（→）」というイントネーションが正しいようです）。

授業の終了後も複数の児童が残り、小道具を手にしながら授業で質問したアイデアの意見を出し合っていたことが印象的でした。彼らの熱意と探求心は、知財教育の重要性を改めて示してくれたように感じます。

最後に、多くの児童が発明と、その保護の重要性を理解してくれたように思われます。知財授業を通じて、発明や知的財産に対する理解を深めた児童たちが、将来自らアイデアを創作し、守り育てる意識を持ってもらえれば嬉しいです。



興味津々の児童達に講義を行う講師

※「ミャクミャク」は公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の登録商標です。

関西会知財授業担当 村瀬 成康

「知的財産特別授業」泉南市立新家小学校

1. 日 時：令和6年2月19日（月）10：30～11：15
2. 場 所：泉南市立新家小学校
3. 名 称：「知的財産特別授業」
4. 内 容：小学知財授業（寸劇）
5. 対 象：6年生 1クラス 31名
6. 講 師：東山 香織、古田 昌稔
7. コメント：

泉南市立新家小学校は、JR阪和線の新家駅から徒歩10分ほどの閑静な住宅街に位置しています。今回は6年生1クラスに「君も今日からエジソン」のコンテンツを使った授業を行いました。授業では、司会役を東山会員が担当し、F博士役を古田会員が担当しました。怪人X役は担任の先生に担当して頂きました。

肝心の授業では、「発明」「特許権」といった耳慣れない言葉の登場にもかかわらず、私たちの説明に全員が熱心に耳を傾けてくれていました。「発明って何でしょう」といった、大人でも答えに戸惑うような質問に対しても、「新しいもの考えること」と正確な答えが直ぐに出てきて驚かされました。特許権侵害の寸劇は本日一番の盛り上がりを見せたと思います。F博士のような人がいなくなったら新しい発明が生まれなくなって世の中の進歩が止まってしまうこと、そのためには特許制度が必要であること、弁理士は発明と発明家を守る仕事をしていることを寸劇を通じて伝えられたと思います。最後のクイズタイムも好評で、多くの身近な物が日本人によって発明されたことを知って驚いている児童が多くいたのが印象的でした。

今日学んだ発明や特許のことはもちろん、私たち弁理士の仕事のことも覚えていてくれることを期待しながら学校をあとにしました。



興味津々の児童達に講義を行う講師

関西会知財授業担当 古田 昌稔

「知的財産特別授業」大阪市立城北小学校

1. 日 時：令和6年2月27日（火）10：40～12：15
2. 場 所：京都市立向島藤の木小学校
3. 名 称：「知的財産特別授業」
4. 内 容：発明工作授業（片手で持てるかな）
5. 対 象：1, 2, 3, 4年生 2クラス 75名
6. 講 師：小林 義周、大濱 徹
7. コメント：

知的財産特別授業を行った京都市立向島藤の木小学校は、京都市伏見区を流れる宇治川の南側に位置し、近鉄向島駅からのアクセスが良い向島ニュータウンの中にある1983年に開校した小学校です。

今回は、紙皿と紙コップとストローを使って、ジュースとポップコーンとを片手で持てる食器を発明するという工作授業を、1, 2年生30人の授業と3, 4年生28人の授業とに分けて、ダブルヘッダーで行いました。

カップヌードルにまつわる発明について司会の小林会員が説明を行った後、児童たちに「ジュースが飲めて、ポップコーンも乗せることが出来る片手で持てる食器」を作ってください、という課題を出しました。

皆さん、直ぐに作業に取りかかり、「出来た人は手を挙げて発表して下さい」と言うと、1, 2年生も3, 4年生も多くの手が上がりました。

単に紙皿と紙コップとを合体させるだけでなく、合体した食器を置きやすいように台をつけたり、持ちやすいように持ち手を取り付けたり、沢山のポップコーンがこぼれないように紙皿を加工したり、沢山のジュースが飲めるように紙コップを大きくしたり、ジュースがお代わりし易いように注ぎ口を工夫するなど、短い授業時間内では紹介しきれなかった多くの独創的な発明が生まれました。

他にも顔を付けて人形のように可愛くした食器を作る児童もあり、他の児童の工夫に刺激されてさらに改良、工夫していくなど、大変盛り上がった授業を行うことが出来ました。

最後に、私たち弁理士は発明を守る仕事をしていること、2025年の大阪・関西万博にも多くの発明品が登場することを紹介し、授業を終えました。

今回の授業が、物作りの楽しさを知るきっかけと、発明することへの興味を持つきっかけになってくれれば良いと思います。



発想力豊かな児童達と工作を行う講師

※「カップヌードル」は日清食品ホールディングス株式会社の登録商標です。
関西会知財授業担当 大濱 徹

日本弁理士会関西会× INPIT-KANSAI オンラインセミナー
「海外進出に必要な知的財産活動のノウハウ」

1. 日 時：令和6年3月5日（火）14：00～16：00
2. 場 所：Zoomによるオンラインセミナー
3. 主 催：独立行政法人工業所有権情報・研修館 近畿統括本部（INPIT-KANSAI）、
公益財産法人大阪産業局、日本弁理士会関西会
4. 後 援：大阪国際ビジネス支援コンソーシアム
5. テーマ：海外進出に必要な知的財産活動のノウハウ
6. 講 師：独立行政法人工業所有権情報・研修館 知的財産戦略エキスパート 鶴善一 氏
弁理士 山崎理恵 会員

7. 受講者：61名

8. 内 容：

（1）海外進出に必要な知的財産活動のノウハウ（講師：鶴善一 氏）

主に以下の内容を講演していただいた。

- ・知的財産と知的財産権、営業秘密（海外含む）についての説明
- ・海外ビジネスにおけるリスク（模倣品、技術の流出、商標の冒認出願など）についての説明
- ・展示会場、工場見学などでの情報開示の留意点（必要以上に情報開示しない）
- ・契約及び契約書の重要性、ECを活用する場合の対策、他社の知的財産権への侵害防止
- ・模倣品対策の実例、輸入差止申立て（国内、海外）

（2）意匠権取得でリーズナブルな海外進出（講師：山崎理恵 会員）

主に以下の内容を講演していただいた。

- ・模倣品の例を具体的に示しながら、製品模倣によって受ける損失、模倣品対策などについて説明
- ・製品のカタチ・デザインを守る権利（著作権、不正競争防止法、特許、意匠、商標）についての説明
- ・意匠は、特許に比べて権利取得の費用が少ない。意匠の登録率も高い（出願に対して9割以上が登録）。ただし、意匠は出願件数が少ない。
- ・登録意匠の例について紹介
- ・模倣品を作っている最大の国は中国。中国から、アジア、欧米に模倣品が流れている。
- ・各国の意匠制度、意匠の権利取得までの流れの概略説明
- ・ハーグについて説明（手続きの流れ、利点など）
- ・外国への意匠出願における費用の概略

関西会 国際情報委員会 委員 鈴木一晃

九州会

「知財授業」大分県立国東高等学校

1. 日 時：令和6年3月11日（月） 9：30～10：20
10：30～11：40
2. 会 場：大分県立国東高等学校
3. 対 象：1コマ目は電子工業科2年生14名、2コマ目は先生6名
4. 講 師：九州会 松本秀治 会員
5. 内 容：

1コマ目は、生徒を対象に、パテントコンテストの概要や大分県の受賞者である大分工業の例を具体的に説明しました。また、小学生でも特許を取得した例があることを説明しました。さらに、実際に講師自身がコロナ禍の状況で発明したマスク用サポートについて特許を取得した事例を説明すると共に、著作物も知財であることを説明しました。2コマ目は、先生を対象に、主に先生からの質問に回答する形式で行い、他校の取り組みの具体例や、発明のために課題発見が大事であり、日頃から問題意識を持つことが大切であること、特許と商標の性質の違い等について説明しました。

九州会 松本秀治 会員

2

支援活動一覧表（6月から）

相談

北海道会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|---------|-------------|---------|---------------|
| 北海道 | 毎週火・金曜日 | 常設知的財産相談室 | 北海道会事務所 | 北海道会所属 弁理士 |

東北会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|-----------------|---------|-----------|
| 青森 | 24.06.12 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 青森商工会議所 | 三浦誠一 |
| 青森 | 24.07.10 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 青森商工会議所 | 角田世治 |
| 青森 | 24.08.14 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 青森商工会議所 | 三浦誠一 |
| 青森 | 24.09.11 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 青森商工会議所 | 角田世治 |
| 青森 | 24.10.09 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 青森商工会議所 | 三浦誠一 |
| 青森 | 24.11.13 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 青森商工会議所 | 角田世治 |
| 青森 | 24.12.11 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 青森商工会議所 | 三浦誠一 |
| 青森 | 25.01.08 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 青森商工会議所 | 角田世治 |
| 青森 | 25.02.12 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 青森商工会議所 | 角田世治 |
| 青森 | 25.03.12 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 青森商工会議所 | 角田世治 |
| 岩手 | 24.06.12 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 盛岡商工会議所 | 船越巧子 |
| 岩手 | 24.07.03 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 奥州商工会議所 | 丸岡裕作 |
| 岩手 | 24.07.10 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 盛岡商工会議所 | 東田潔 |
| 岩手 | 24.08.21 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 盛岡商工会議所 | 野崎俊剛 |
| 岩手 | 24.09.04 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 奥州商工会議所 | 村雨啓介 |
| 岩手 | 24.09.11 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 盛岡商工会議所 | 丸岡裕作 |
| 岩手 | 24.10.09 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 盛岡商工会議所 | 船越巧子 |
| 岩手 | 24.11.06 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 奥州商工会議所 | 野崎俊剛 |
| 岩手 | 24.11.13 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 盛岡商工会議所 | 東田潔 |
| 岩手 | 24.12.11 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 盛岡商工会議所 | 丸岡裕作 |
| 岩手 | 25.01.08 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 奥州商工会議所 | 船越巧子 |
| 岩手 | 25.01.15 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 盛岡商工会議所 | 村雨啓介 |
| 岩手 | 25.02.12 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 盛岡商工会議所 | 東田潔 |
| 岩手 | 25.03.05 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 奥州商工会議所 | 丸岡裕作 |

2. 支援活動一覧表（6月から）／相談

東北会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------------------|-----------------|----------|-----------|
| 岩手 | 25.03.12 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 盛岡商工会議所 | 野崎俊剛 |
| 宮城 | 毎週火曜日 13:00~16:00 | 常設知的財産相談室 | 東北会事務所 | 東北会所属弁理士 |
| 宮城 | 24.06.12 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 気仙沼商工会議所 | 若山剛 |
| 宮城 | 24.07.10 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 気仙沼商工会議所 | 藤田正広 |
| 宮城 | 24.08.21 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 気仙沼商工会議所 | 若山剛 |
| 宮城 | 24.09.11 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 気仙沼商工会議所 | 藤田正広 |
| 宮城 | 24.10.09 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 気仙沼商工会議所 | 若山剛 |
| 宮城 | 24.11.13 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 気仙沼商工会議所 | 藤田正広 |
| 秋田 | 24.06.03 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 大曲商工会議所 | 齋藤昭彦 |
| 秋田 | 24.07.01 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 大曲商工会議所 | 熊谷繁 |
| 秋田 | 24.10.07 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 大曲商工会議所 | 熊谷繁 |
| 秋田 | 24.11.11 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 大曲商工会議所 | 齋藤昭彦 |
| 秋田 | 24.12.09 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 大曲商工会議所 | 熊谷繁 |
| 秋田 | 25.01.20 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 大曲商工会議所 | 齋藤昭彦 |
| 山形 | 24.07.17 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 山形商工会議所 | 岩崎良子 |
| 山形 | 24.09.18 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 山形商工会議所 | 佐藤司 |
| 山形 | 24.11.20 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 山形商工会議所 | 黒沼吉行 |
| 山形 | 25.01.15 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 山形商工会議所 | 岩崎良子 |
| 山形 | 25.03.19 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 山形商工会議所 | 佐藤司 |

関東会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|-----------------------|---|---|----------------------|
| 埼玉 | 24.04.01~ 25.03.31 | 埼玉県農業経営・就農支援センター (埼玉県農業経営相談所) 専門家候補者 | (公社)埼玉県農林公社・各農林振 興センター(8か所)、農業者宅等、 またはオンライン | 飯塚道夫 石塚勝久 寺尾康典 |
| 埼玉 | 24.04.01~ 25.03.31 | 士業専門家による無料相談会 (埼玉県産業振興公社) | 創業・ベンチャー支援センター埼玉 | 調整中 |
| 千葉 | 24.06.25 | 2024年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ) | 東葛テクノプラザ | 角田朗 |
| 千葉 | 24.07.23 | 2024年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ) | 東葛テクノプラザ | 浅井淳 |
| 千葉 | 24.08.27 | 2024年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ) | 東葛テクノプラザ | 高橋昌義 |
| 千葉 | 24.09.24 | 2024年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ) | 東葛テクノプラザ | 堀宏光 |
| 千葉 | 24.10.22 | 2024年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ) | 東葛テクノプラザ | 山川啓 |
| 千葉 | 24.11.26 | 2024年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ) | 東葛テクノプラザ | 高田大輔 |
| 千葉 | 24.12.24 | 2024年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ) | 東葛テクノプラザ | 中村裕行 |
| 千葉 | 25.01.28 | 2024年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ) | 東葛テクノプラザ | 加藤義博 |
| 千葉 | 25.02.25 | 2024年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ) | 東葛テクノプラザ | 堀宏光 |

関東会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------|----------------------|
| 千葉 | 25.03.25 | 2024 年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ) | 東葛テクノプラザ | 上村陽一郎 |
| 東京 | 24.04.12~ 25.03.28 | 品川区特許相談 | 品川区立中小企業センター | 伊藤夏香 高橋一哉 中重善文 |
| 東京 | 24.06.13 | 2024 年度東京商工会議所専門相談員 | 東京商工会議所中小企業相談センター | 森山朗 |
| 東京 | 24.06.13 | 2024 年度知財無料相談会 (町田) | 町田新産業創造センター又はオンライン | 上田精一 |
| 東京 | 24.06.18 | 2024 年度東京商工会議所文京支部専門相談員 | 東京商工会議所文京支部 | 澁川喜和夫 |
| 東京 | 24.06.18 | 2024 年度多摩地域無料知的財産相談会 | たましん事業支援センター (Winセンター) 又はオンライン | 下村和夫 |
| 東京 | 24.06.28 | 2024 年度上期 BusiNest 無料知的財産相談会 | BusiNest 内会議室又はオンライン | 高原千鶴子 |
| 東京 | 24.07.01 | 2024 年度豊島区専門家合同相談室 | 豊島区役所本庁舎 4 階東側 面接・相談室 | 東京委員会委員 |
| 東京 | 24.07.11 | 2024 年度東京商工会議所専門相談員 | 東京商工会議所中小企業相談センター | 深澤潔 |
| 東京 | 24.07.11 | 2024 年度知財無料相談会 (町田) | 町田新産業創造センター又はオンライン | 森山朗 |
| 東京 | 24.07.16 | 2024 年度東京商工会議所文京支部専門相談員 | 東京商工会議所文京支部 | 小西頴 |
| 東京 | 24.07.16 | 2024 年度多摩地域無料知的財産相談会 | たましん事業支援センター (Winセンター) 又はオンライン | 深澤潔 |
| 東京 | 24.07.26 | 2024 年度上期 BusiNest 無料知的財産相談会 | BusiNest 内会議室又はオンライン | 保坂俊 |
| 東京 | 24.08.08 | 2024 年度東京商工会議所専門相談員 | 東京商工会議所中小企業相談センター | 留場恒光 |
| 東京 | 24.08.08 | 2024 年度知財無料相談会 (町田) | 町田新産業創造センター又はオンライン | 深澤潔 |
| 東京 | 24.08.20 | 2024 年度東京商工会議所文京支部専門相談員 | 東京商工会議所文京支部 | 伊藤夏香 |
| 東京 | 24.08.20 | 2024 年度多摩地域無料知的財産相談会 | たましん事業支援センター (Winセンター) 又はオンライン | 上田精一 |
| 東京 | 24.08.23 | 2024 年度上期 BusiNest 無料知的財産相談会 | BusiNest 内会議室又はオンライン | 下村和夫 |
| 東京 | 24.09.12 | 2024 年度東京商工会議所専門相談員 | 東京商工会議所中小企業相談センター | 澁川喜和夫 |
| 東京 | 24.09.12 | 2024 年度知財無料相談会 (町田) | 町田新産業創造センター又はオンライン | 徳本浩一 |
| 東京 | 24.09.17 | 2024 年度東京商工会議所文京支部専門相談員 | 東京商工会議所文京支部 | 松本公一 |
| 東京 | 24.09.17 | 2024 年度多摩地域無料知的財産相談会 | たましん事業支援センター (Winセンター) 又はオンライン | 保坂俊 |
| 東京 | 24.09.27 | 2024 年度上期 BusiNest 無料知的財産相談会 | BusiNest 内会議室又はオンライン | 森山朗 |
| 東京 | 24.10.10 | 2024 年度東京商工会議所専門相談員 | 東京商工会議所中小企業相談センター | 伊藤夏香 |
| 東京 | 24.10.10 | 2024 年度知財無料相談会 (町田) | 町田新産業創造センター又はオンライン | 調整中 |
| 東京 | 24.10.15 | 2024 年度東京商工会議所文京支部専門相談員 | 東京商工会議所文京支部 | 鈴木康介 |
| 東京 | 24.10.15 | 2024 年度多摩地域無料知的財産相談会 | たましん事業支援センター (Winセンター) 又はオンライン | 東京委員会委員 |
| 東京 | 24.11.08 | 2024 年度豊島区専門家合同相談室 | 豊島区役所本庁舎 4 階東側 面接・相談室 | 東京委員会委員 |
| 東京 | 24.11.14 | 2024 年度東京商工会議所専門相談員 | 東京商工会議所中小企業相談センター | 保坂俊 |
| 東京 | 24.11.14 | 2024 年度知財無料相談会 (町田) | 町田新産業創造センター又はオンライン | 東京委員会委員 |
| 東京 | 24.11.19 | 2024 年度東京商工会議所文京支部専門相談員 | 東京商工会議所文京支部 | 須藤修三 |
| 東京 | 24.11.19 | 2024 年度多摩地域無料知的財産相談会 | たましん事業支援センター (Winセンター) 又はオンライン | 調整中 |
| 東京 | 24.12.12 | 2024 年度東京商工会議所専門相談員 | 東京商工会議所中小企業相談センター | 徳本浩一 |

2. 支援活動一覧表（6月から）／相談

関東会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|--------------------------|------------------------------|-----------|
| 東京 | 24.12.12 | 2024年度知財無料相談会（町田） | 町田新産業創造センター又はオンライン | 調整中 |
| 東京 | 24.12.17 | 2024年度東京商工会議所文京支部専門相談員 | 東京商工会議所文京支部 | 藤岡茂 |
| 東京 | 24.12.17 | 2024年度多摩地域無料知的財産相談会 | たましん事業支援センター（Winセンター）又はオンライン | 東京委員会委員 |
| 東京 | 25.01.09 | 2024年度東京商工会議所専門相談員 | 東京商工会議所中小企業相談センター | 下村和夫 |
| 東京 | 25.01.09 | 2024年度知財無料相談会（町田） | 町田新産業創造センター又はオンライン | 調整中 |
| 東京 | 25.01.21 | 2024年度東京商工会議所文京支部専門相談員 | 東京商工会議所文京支部 | 川崎仁 |
| 東京 | 25.01.21 | 2024年度多摩地域無料知的財産相談会 | たましん事業支援センター（Winセンター）又はオンライン | 東京委員会委員 |
| 東京 | 25.02.13 | 2024年度東京商工会議所専門相談員 | 東京商工会議所中小企業相談センター | 中重善文 |
| 東京 | 25.02.13 | 2024年度知財無料相談会（町田） | 町田新産業創造センター又はオンライン | 調整中 |
| 東京 | 25.02.18 | 2024年度東京商工会議所文京支部専門相談員 | 東京商工会議所文京支部 | 中重善文 |
| 東京 | 25.02.18 | 2024年度多摩地域無料知的財産相談会 | たましん事業支援センター（Winセンター）又はオンライン | 東京委員会委員 |
| 東京 | 25.03.10 | 2024年度豊島区専門家合同相談室 | 豊島区役所本庁舎4階東側 面接・相談室 | 東京委員会委員 |
| 東京 | 25.03.13 | 2024年度東京商工会議所専門相談員 | 東京商工会議所中小企業相談センター | 折居章 |
| 東京 | 25.03.13 | 2024年度知財無料相談会（町田） | 町田新産業創造センター又はオンライン | 調整中 |
| 東京 | 25.03.18 | 2024年度東京商工会議所文京支部専門相談員 | 東京商工会議所文京支部 | 山本真央 |
| 東京 | 25.03.18 | 2024年度多摩地域無料知的財産相談会 | たましん事業支援センター（Winセンター）又はオンライン | 東京委員会委員 |
| 神奈川 | 24.06.14 | 神奈川県立川崎図書館令和6年度知的財産相談事業 | 神奈川県立川崎図書館 知財スポット | 横川憲広 |
| 神奈川 | 24.06.28 | 神奈川県立川崎図書館令和6年度知的財産相談事業 | 神奈川県立川崎図書館 知財スポット | 三宅康雅 |
| 山梨 | 24.06.11 | 令和6年度弁理士による特許無料相談会（富士吉田） | 富士吉田商工会議所2階会議室 | 中村武彦 |
| 山梨 | 24.07.09 | 令和6年度弁理士による特許無料相談会（富士吉田） | 富士吉田商工会議所2階会議室 | 望月義時 |
| 山梨 | 24.08.13 | 令和6年度弁理士による特許無料相談会（富士吉田） | 富士吉田商工会議所2階会議室 | 久保雅裕 |
| 山梨 | 24.09.10 | 令和6年度弁理士による特許無料相談会（富士吉田） | 富士吉田商工会議所2階会議室 | 堀内正優 |
| 山梨 | 24.10.08 | 令和6年度弁理士による特許無料相談会（富士吉田） | 富士吉田商工会議所2階会議室 | 深澤潔 |
| 山梨 | 24.11.12 | 令和6年度弁理士による特許無料相談会（富士吉田） | 富士吉田商工会議所2階会議室 | 砂田岳彦 |
| 山梨 | 24.12.10 | 令和6年度弁理士による特許無料相談会（富士吉田） | 富士吉田商工会議所2階会議室 | 中村武彦 |
| 山梨 | 25.01.14 | 令和6年度弁理士による特許無料相談会（富士吉田） | 富士吉田商工会議所2階会議室 | 堀内正優 |
| 山梨 | 25.02.12 | 令和6年度弁理士による特許無料相談会（富士吉田） | 富士吉田商工会議所2階会議室 | 望月義時 |
| 山梨 | 25.03.11 | 令和6年度弁理士による特許無料相談会（富士吉田） | 富士吉田商工会議所2階会議室 | 砂田岳彦 |

東海会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------------------|-------------|--------|-----------|
| 愛知 | 月～金 (13:00～16:00) | 常設知的財産相談室 | 東海会事務所 | 東海会所属弁理士 |

関西会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|------------------------------------|---------------------------------------|---|------------|
| 京都 | 月～金 10:00～12:00、 13:00～17:00 | 「特許・商標等」の無料相談 (要予約・個人面談方式) | 京都府北部：舞鶴商工会議所、福知山商工会議所、綾部商工会議所、亀岡商工会議所、伊根町商工会 京都府中部：オフィスワン四条烏丸 京都府南部：宇治商工会議所、城陽商工会議所、京田辺市商工会館、井手町商工会 その他：担当弁理士の事務所 | 京都地区会所属弁理士 |
| 大阪 | 月～金 10:00～12:00、 14:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 関西会事務所 | 関西会所属弁理士 |
| 奈良 | 月～金 10:00～12:00、 13:00～17:00 | 知的財産無料相談 (要予約・個人面談方式) ※電話相談のみ開催 | — | 奈良地区会所属弁理士 |

中国会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------------------|-------------|--------|-----------|
| 広島 | 毎週火曜日 13:00～15:00 | 常設知的財産相談室 | 中国会事務所 | 中国会所属弁理士 |

四国会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|---------------------------|-----------------------------|---------------------|-----------|
| 徳島 | 第1水曜日(偶数月) 13:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 徳島県立工業技術センター | 四国会所属弁理士 |
| 香川 | 第2・4水曜日 13:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 四国会事務所 | 四国会所属弁理士 |
| 香川 | 第2水曜日 13:00～15:00 | 弁理士 知財無料相談会 (要予約・個人面談方式) | 丸亀市市民交流活動センター「マルタス」 | 四国会所属弁理士 |
| 愛媛 | 第1月曜日 13:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 四国中央商工会議所 | 四国会所属弁理士 |
| 愛媛 | 第3木曜日(奇数月) 13:00～16:00 | 無料特許相談 (要予約・個人面談方式) | 八幡浜商工会議所 | 四国会所属弁理士 |
| 愛媛 | 第2金曜日(奇数月) 13:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 宇和島商工会議所 | 四国会所属弁理士 |
| 高知 | 第3木曜日 13:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 高知県発明協会 | 四国会所属弁理士 |

九州会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------------------|---------------------------|--------|-----------|
| 福岡 | 毎週木曜日 10:00～15:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 九州会事務所 | 九州会所属弁理士 |

講演

関東会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|----------------------------|--------------|---------------------|
| 栃木 | 24.07.08 | 知的財産特別授業 (栃木県立足利工業高等学校) | 栃木県立足利工業高等学校 | 高原千鶴子 山田由美子 |
| 東京 | 24.06.09 | 発明工作授業（江戸川区子ども未来館） | 江戸川区子ども未来館 | 竹澤誠 斉藤進 |
| 東京 | 24.07.24 | 発明工作授業 (中央区教育委員会教育センター) | 調整中 | 根岸宏子 赤羽崇 上田精一 |

2. 支援活動一覧表（6月から）／講演

関東会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|---------------------|--------------------|-----------|
| 神奈川 | 24.06.15 | 中小企業診断士向け「理論政策更新研修」 | 崎陽軒 6 階会議室およびオンライン | 穂坂道子 |
| 神奈川 | 25.02.22 | 中小企業診断士向け「理論政策更新研修」 | 崎陽軒 6 階会議室およびオンライン | 西山恵三 |

東海会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|--|---------------------|--------------|
| 長野 | 24.07.26 | 知財支援フォーラム in 長野 | ホテルメトロポリタン長野 | 調整中 |
| 静岡 | 24.07.19 | 知的財産支援フォーラム in 静岡 | ブケトーカイ | 調整中 |
| 愛知 | 24.06.04 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.06.11 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.06.18 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.06.25 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.07.02 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.07.09 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.07.16 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.07.23 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.07.30 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 名市大側 |
| 愛知 | 24.08.07 | 碧南市ものづくりセンターにおける知的財産授業 | 碧南ものづくりセンター | 教育機関支援機構運営委員 |
| 愛知 | 24.09.21 | 休日パテントセミナー in 名古屋 | 名古屋商工会議所 3F 第 5 会議室 | 知的財産権制度推進委員 |
| 愛知 | 24.10.03 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 竹村恵一 |
| 愛知 | 24.10.10 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 榊原毅 |
| 愛知 | 24.10.17 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 榊原靖 |
| 愛知 | 24.10.19 | 休日パテントセミナー in 名古屋 | 名古屋商工会議所 3F 第 5 会議室 | 知的財産権制度推進委員 |
| 愛知 | 24.10.24 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 藤田早百合 |
| 愛知 | 24.10.31 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.11.07 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.11.14 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.11.21 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.11.23 | 休日パテントセミナー in 名古屋 | 名古屋商工会議所 3F 第 5 会議室 | 知的財産権制度推進委員 |
| 愛知 | 24.11.28 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 調整中 |

東海会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|---------------------------------------|-------------------|--------------|
| 愛知 | 24.12.05 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.12.12 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.12.19 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.12.21 | 休日パテントセミナー in 名古屋 | 名古屋商工会議所 3F 第5会議室 | 知的財産権制度推進委員 |
| 愛知 | 25.01.09 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 教育機関支援機構運営委員 |
| 愛知 | 25.01.13 | 名古屋大学「おもしろ科学教室」 | 名古屋大学 I B 電子情報館 | 教育機関支援機構運営委員 |
| 愛知 | 25.01.16 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 教育機関支援機構運営委員 |
| 愛知 | 25.01.18 | 休日パテントセミナー in 名古屋 | 名古屋商工会議所 3F 第5会議室 | 知的財産権制度推進委員 |
| 愛知 | 25.01.23 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 教育機関支援機構運営委員 |
| 愛知 | 25.01.30 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「教養教育課程－知的財産権入門－」 | 名古屋市立大学山の畑キャンパス | 名市大側 |
| 愛知 | 25.02.07 | 東海会開設日記念「知的財産セミナー2025」 | 名古屋観光ホテル | 調整中 |

関西会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|---|----------------|----------------------------------|
| 滋賀 | 24.06.15 | 知的財産特別授業 | 栗東市青少年少女発明クラブ | 村上太郎 光明寺大道 |
| 大阪 | 24.06.13 | 知的財産権に関するセミナー in MOBIO-Cafe (第1回)「新人向け知財基礎セミナー～事例から学ぼう、許される模倣と許されない模倣とは～」 | クリエイションコア東大阪南館 | 松下正 |
| 大阪 | 24.07.02 | 知的財産特別授業 | 大阪狭山市立南第一小学校 | 調整中 |
| 大阪 | 24.08.05 | 知的財産特別授業 | 岸和田市立消費生活センター | 中野賢太 |
| 大阪 | 24.08.30 | 知的財産特別授業 | 大阪市立矢田小学校 | 神木祐栄 |
| 大阪 | 24.09.19 | 知的財産特別授業 | 大阪市立湯里小学校 | 調整中 |
| 大阪 | 24.10.03 | 知的財産特別授業 | 泉南市立東小学校 | 調整中 |
| 大阪 | 25.02.07 | 知的財産特別授業 | 大阪市立城北小学校 | 調整中 |
| 兵庫 | 24.06.05 | 知的財産特別授業 | 姫路市立中寺小学校 | 榎本啓介 |
| 兵庫 | 24.11.28 | 知的財産特別授業 | 神戸学院大学附属中学校 | 調整中 |
| 奈良 | 24.07.02 | 知的財産特別授業 | 奈良学園小学校 | 大西正夫 |
| 奈良 | 24.07.13 | 令和6年度「弁理士の日」記念事業 知的財産セミナー・知的財産相談 | アクティ奈良 | 木川美樹子氏 (JETRO 奈良) 奈良地区所属会員 |
| 奈良 | 24.10.19 | 知的財産講座 | 奈良県立図書情報館 | 門田康 |
| 奈良 | 24.12.14 | 知的財産講座 | 奈良県立図書情報館 | 中西康文 |

中国会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|-------------|------|-----------|
| 鳥取 | 24.07.08 | 知的財産授業 | 鳥取大学 | 保坂幸男 |

その他

関東会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|-----------------------|-------------------------------|--------------------------|--|
| 茨城 | 24.09.01～ 25.03.31 | 茨城大学寄附講座 | 茨城大学日立キャンパス および オンライン | 柴田富士子 石塚利博 服部耕市 丸林啓介 百武幸子 |
| 群馬 | 24.07.14 | 弁理士の日記念イベント 2024 | けやきウォーク前橋 1階 けやき ホール | 弁理士の日記念 イベント WG・ 運営委員 |
| 千葉 | 24.09.26 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 浅井淳 |
| 千葉 | 24.10.03 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 山川啓 |
| 千葉 | 24.10.10 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 山川啓 |
| 千葉 | 24.10.17 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 金子彩子 |
| 千葉 | 24.10.24 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 金子彩子 |
| 千葉 | 24.10.31 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 高田大輔 |
| 千葉 | 24.11.07 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 高田大輔 |
| 千葉 | 24.11.14 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 上村陽一郎 |
| 千葉 | 24.11.21 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 上村陽一郎 |
| 千葉 | 24.11.28 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 角田朗 |
| 千葉 | 24.12.05 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 角田朗 |
| 千葉 | 24.12.12 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 浅井淳 |
| 千葉 | 24.12.19 | 千葉工業大学 | 千葉工業大学津田沼キャンパス | 浅井淳 |
| 東京 | 24.04.01～ 24.12.31 | 第 22 回多摩ブルー・グリーン賞 | 調整中 | 相原礼路 |
| 東京 | 24.05.08～ 24.09.13 | 令和 6 年度板橋製品技術大賞知的財産審 査会審査 | 調整中 | 鈴木康介 松本公一 澁川喜和夫 |
| 東京 | 24.08.07～ 24.08.08 | 令和 6 年度板橋製品技術大賞知的財産審 査会審査 | 調整中 | 太田洋子 |
| 神奈川 | 24.04.01～ 25.03.31 | 令和 6 年度かわさき起業家オーデイショ ン（協賛） | 調整中 | 調整中 |
| 神奈川 | 24.06.10 | 慶應義塾大学（矢上キャンパス） | 慶應義塾大学（矢上キャンパス） | 木下茂 |
| 神奈川 | 24.09.22～ 25.03.31 | 横浜市立大学寄附講座 | 横浜市立大学 金沢八景キャンパス | 船津暢宏 西山恵三 柴田克亮 高原千鶴子 長谷川陽子 賀澤正宏 渡辺貴康 植木泰弘 岩永勇二 |

関西会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|--|----------|----------------|
| 京都 | 24.07.13 | 令和 6 年度「弁理士の日」記念事業 親子発明工作教室「みんなで工作をしよう！～バランス取れるかな～」 | 京都経済センター | 京都地区会所属弁 理士 |

関西会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会 場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|--|--------------|---|
| 大阪 | 24.07.06 | 令和6年度「弁理士の日」記念事業 知財ふれあいフェスティバル | ツイン 21 アトリウム | 久保田雅人氏 (わくわくさん) 吉岡亜紀子 知財普及・支援 委員会委員 |
| 兵庫 | 24.06.29 | 令和6年度「弁理士の日」記念事業 子ども向け実験教室「ひんやり実験、大 集合!」 | バンドー神戸青少年科学館 | 吉岡亜紀子 |
| 奈良 | 24.06.08 | 親子知財教室「親子で学ぼう知的財産」 | 奈良県立図書情報館 | 松山徳子 |
| 和歌山 | 24.08.17 | 令和6年度「弁理士の日」記念事業 子ども向け実験工作教室 | 和歌山大学 | 吉岡亜紀子 |

3

支援活動一覧表（5月分）

相 談

北海道会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会 場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|---------|-------------|---------|---------------|
| 北海道 | 毎週火・金曜日 | 常設知的財産相談室 | 北海道会事務所 | 北海道会所属 弁理士 |

東北会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会 場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------------------|-----------------|---------|-----------|
| 青森 | 24.05.08 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 青森商工会議所 | 角田世治 |
| 岩手 | 24.05.01 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 奥州商工会議所 | 東田潔 |
| 岩手 | 24.05.08 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 盛岡商工会議所 | 野崎俊剛 |
| 宮城 | 毎週火曜日 13:00~16:00 | 常設知的財産相談室 | 東北会事務所 | 東北会所属弁理士 |
| 山形 | 24.05.15 | 日本弁理士会特許商標無料相談会 | 山形商工会議所 | 黒沼吉行 |

北陸会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会 場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|-------------|--------|-----------|
| 石川 | 24.05.15 | 常設知的財産相談室 | 北陸会事務所 | 宮本一浩 |
| 石川 | 24.05.29 | 常設知的財産相談室 | 北陸会事務所 | 木森有平 |

関東会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会 場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|-----------------------|---|---|----------------------|
| 埼玉 | 24.04.01~ 25.03.31 | 埼玉県農業経営・就農支援センター (埼玉県農業経営相談所) 専門家候補者 | (公社)埼玉県農林公社・各農林振 興センター(8か所)、農業者宅等、 またはオンライン | 飯塚道夫 石塚勝久 寺尾康典 |
| 埼玉 | 24.04.01~ 25.03.31 | 士業専門家による無料相談会 (埼玉県産業振興公社) | 創業・ベンチャー支援センター埼 玉 | 調整中 |
| 千葉 | 24.05.28 | 2024年度 弁理士による特許無料相談 会(東葛テクノプラザ) | 東葛テクノプラザ | 高橋洋平 |
| 東京 | 24.04.12~ 25.03.28 | 品川区特許相談 | 品川区立中小企業センター | 伊藤夏香 高橋一哉 中重善文 |
| 東京 | 24.05.09 | 2024年度東京商工会議所専門相談員 | 東京商工会議所中小企業相談セン ター | 松本公一 |
| 東京 | 24.05.09 | 2024年度知財無料相談会(町田) | 町田新産業創造センター又はオン ライン | 高原千鶴子 |
| 東京 | 24.05.21 | 2024年度東京商工会議所文京支部専門 相談員 | 東京商工会議所文京支部 | 森田昭生 |
| 東京 | 24.05.21 | 2024年度多摩地域無料知的財産相談会 | たましん事業支援センター (Winセンター) 又はオンライン | 高原千鶴子 |
| 東京 | 24.05.24 | 2024年度上期 BusiNest 無料知的財産 相談会 | BusiNest 内会議室又はオンライン | 徳本浩一 |
| 東京 | 24.05.31 | 2024年度豊島区専門家合同相談室 | 豊島区役所本庁舎4階東側 面接・相談室 | 斎藤理絵 |
| 神奈川 | 24.05.10 | 神奈川県立川崎図書館令和6年度知的財産 相談事業 | 神奈川県立川崎図書館 知財スポット | 川嶋聡 |

関東会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|--------------------------|----------------------|-----------|
| 神奈川 | 24.05.24 | 神奈川県立川崎図書館令和6年度知的財産相談事業 | 神奈川県立川崎図書館 知財スポット | 高原千鶴子 |
| 山梨 | 24.05.14 | 令和6年度弁理士による特許無料相談会(富士吉田) | 富士吉田商工会議所2階会議室 | 三原秀子 |

東海会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|--------------------|-------------|-----------|-----------|
| 愛知 | 月～金 13:00～16:00 | 常設知的財産相談室 | 日本弁理士会東海会 | 東海会所属弁理士 |

関西会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|------------------------------------|---------------------------------------|---|------------|
| 京都 | 月～金 10:00～12:00、 13:00～17:00 | 「特許・商標等」の無料相談 (要予約・個人面談方式) | 京都府北部：舞鶴商工会議所、福知山商工会議所、綾部商工会議所、 亀岡商工会議所、伊根町商工会 京都府中部：オフィスワン四条烏丸 京都府南部：宇治商工会議所、城陽商工会議所、京田辺市商工会館、 井手町商工会 その他：担当弁理士の事務所 | 京都地区会所属弁理士 |
| 大阪 | 月～金 10:00～12:00、 14:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 関西会事務所 | 関西会所属弁理士 |
| 奈良 | 月～金 10:00～12:00、 13:00～17:00 | 知的財産無料相談 (要予約・個人面談方式) ※電話相談のみ開催 | — | 奈良地区会所属弁理士 |

中国会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------------------|-------------|--------|-----------|
| 広島 | 毎週水曜日 13:00～15:00 | 常設知的財産相談室 | 中国会事務所 | 中国会事務所 |

中国会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|---------------------------|-----------------------------|-------------------------|-----------|
| 徳島 | 第1水曜日(偶数月) 13:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 徳島県立工業技術センター | 四国会所属弁理士 |
| 香川 | 第2・4水曜日 13:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 四国会事務所 | 四国会所属弁理士 |
| 香川 | 第2水曜日 13:00～15:00 | 弁理士 知財無料相談会 (要予約・個人面談方式) | 丸亀市市民交流活動センター 「マルタス」 | 四国会所属弁理士 |
| 愛媛 | 第1月曜日 13:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 四国中央商工会議所 | 四国会所属弁理士 |
| 愛媛 | 第3木曜日(奇数月) 13:00～16:00 | 無料特許相談 (要予約・個人面談方式) | 八幡浜商工会議所 | 四国会所属弁理士 |
| 愛媛 | 第2金曜日(奇数月) 13:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 宇和島商工会議所 | 四国会所属弁理士 |
| 高知 | 第3木曜日 13:00～16:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 高知県発明協会 | 四国会所属弁理士 |

九州会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------------------|---------------------------|--------|-----------|
| 福岡 | 毎週木曜日 10:00～15:00 | 常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) | 九州会事務所 | 九州会所属弁理士 |

講演

北海道会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|---------------|-------|-----------|
| 北海道 | 24.05.16 | 「特許と文書作成法」講座② | 北海道大学 | 富田尊彦 |

関東会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|--------------------|------------|-------------|
| 東京 | 24.05.12 | 発明工作授業（江戸川区子ども未来館） | 江戸川区子ども未来館 | 飯田匡章 竹澤誠 |

東海会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|--|-----------------|-----------|
| 愛知 | 24.05.07 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 藤田早百合 |
| 愛知 | 24.05.14 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.05.21 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 調整中 |
| 愛知 | 24.05.28 | 日本弁理士会東海会協力講座名古屋市立大学「デザイン情報関連法規－知的財産権制度のしくみと活用－」 | 名古屋市立大学北千種キャンパス | 調整中 |

関西会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|----------|-------------|------------|----------------------|
| 大阪 | 24.05.27 | 知的財産特別授業 | 大阪市立巽南小学校 | 山本雅之 古澤寛 |
| 兵庫 | 24.05.29 | 知的財産特別授業 | 太子町立太子西中学校 | 渥美元幸 水田慎一 立川伸子 |

その他

関東会

| 開催県 | 日付 | イベント・セミナー名等 | 会場 | 講師(弁理士、他) |
|-----|-----------------------|-------------------------|-----|-----------------------|
| 東京 | 24.04.01～ 24.12.31 | 第22回多摩ブルー・グリーン賞 | 調整中 | 相原礼路 |
| 東京 | 24.05.08～ 24.09.13 | 令和6年度板橋製品技術大賞知的財産審査会審査 | 調整中 | 鈴木康介 松本公一 澁川喜和夫 |
| 神奈川 | 24.04.01～ 25.03.31 | 令和6年度かわさき起業家オーディション（協賛） | 調整中 | 調整中 |

常設知的財産相談室(無料)

※すべて予約制です。

東海会

☎ 052-211-3110

URL : <https://www.jpaa-tokai.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 13:00～16:00

北海道会

☎ 011-736-9331

URL : <https://jpaa-hokkaido.jp/>

相談時間 :

毎週火曜日・金曜日 / 14:00～16:00

関西会

☎ 06-6453-8200

URL : <https://www.kjpaa.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 10:00～12:00、
14:00～16:00

東北会

☎ 022-215-5477

URL : <https://www.jpaa-tohoku.jp/>

相談時間 : 毎週火曜日 / 13:00～16:00

中国会

☎ 082-224-3944

URL : <https://www.jpaa-chugoku.jp/>

相談時間 : 毎週水曜日 / 13:00～15:00

北陸会

☎ 076-266-0617

URL : <https://www.jpaa-hokuriku.jp/>

相談時間 :

※相談日はホームページをご覧ください。

四国会

☎ 087-822-9310

URL : <https://jpaa-shikoku.jp/>

相談時間 :

※相談日はホームページをご覧ください。

関東会

☎ 03-3519-2707

URL : <https://www.jpaa-kanto.jp/>

相談時間 : 月～金曜日 / 10:00～12:00、
14:00～16:00

九州会

☎ 092-415-1139

URL : <https://www.jpaa-kyusyu.jp/>

相談時間 : 毎週木曜日 / 10:00～12:00、
13:00～15:00

中小企業の知財を活かして成長を支援します！

【弁理士知財キャラバン】のご紹介

知財を経営に活かすコンサルティングスキルをもった弁理士が最大3回訪問して、共に課題を解決し業績アップを目指します。

●Point!

- ・費用は無料(日本弁理士会が負担します)。
- ・これまで150社以上の中小企業に対して支援を実施しています。



詳細はコチラ▶



問い合わせ先: 日本弁理士会 弁理士知財キャラバン 担当
E-mail: caravan@jpaa.or.jp

<https://www.jpaa.or.jp/activity/caravan>

お問い合わせやご送付先に変更がございました場合には 日本弁理士会 経営・支援室まで

電話 : 03-3519-2709 (直) FAX : 03-3519-2706

MAIL : shien@jpaa.or.jp

URL : https://www.jpaa.or.jp/support_activity/